

高松アカデミーにおける幼・小中一貫教育

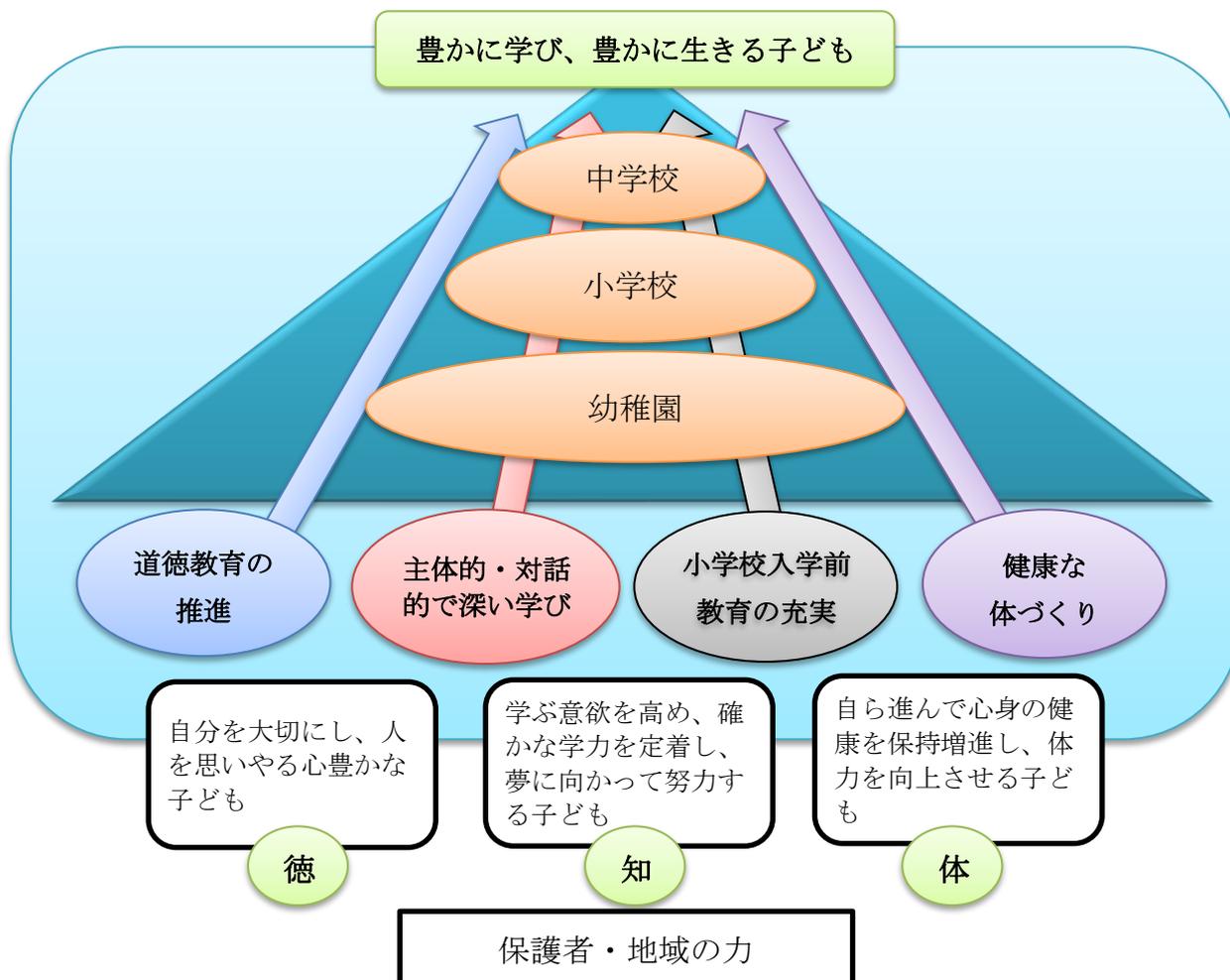
地域に信頼され、子ども・保護者と共にある幼稚園・小中学校
～豊かに学び、豊かに生きる子どもを育成します～

高松アカデミーが目指す幼児・児童・生徒像

- 1 自分を大切にし、人を思いやる心豊かな子ども【徳】
- 2 学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着し、夢に向かって努力する子ども【知】
- 3 自ら進んで心身の健康を保持増進し、体力を向上させる子ども【体】

高松アカデミーの主な活動

- 1 テーマを設定し、研究保育・研究授業、合同研究協議会を行うことにより、一貫教育カリキュラムを意識した保育・授業づくりにつなげます。
令和7年度研究テーマ 「自ら学び解決に向かおうとする子どもの姿」
- 2 幼稚園だより・学校だよりを通して学校間の相互理解を図ります。
- 3 幼・小、小・中、幼・中の交流活動を計画的に設定し、内容を充実させていきます。
- 4 教職員同士の交流・連携の充実を図ります。
- 5 「MINATO カリキュラム」を基本とした12年間を見通した実践を行います。
- 6 小学校就学前カリキュラムや各園・学校の生活のきまりを互いに確認し、生活指導の系統化を図ります。



これからの社会を担う子どもにとって欠かせない能力や心情の育成を目指し、
高松アカデミーでは連携教育を推進しています

実践例1 授業研究・情報交換

『港区学校教育推進計画』基本目標に基づいた分科会を組織して、研究保育・研究授業を行っています。分科会ごとに研究協議を行い、校種を越えて学びを深めています。



実践例2 施設利用

幼児が小学校・中学校の校庭や広場、体育館などで遊んだり、思い切り体を動かしたりして楽しんでいます。幼稚園の運動会を小学校や中学校で行うこともあります。



実践例3 小学校・中学校連携

中学生と小学6年生が交流会を行っています。まず中学校の授業を体験します。次に中学校の生徒会役員による学校生活の説明を聞き、最後に各部活動に分かれて体験します。



実践例4 幼稚園・中学校連携

中学2年生が職場体験として、幼稚園で、教師の仕事を経験します。幼児の遊ぶ姿や教師の関わり方を通して、幼稚園の教師の仕事についての理解を深めます。



実践例5 幼稚園・小学校連携

幼児と小学生がいっしょに体を動かす活動やゲームを通して楽しく交流をしています。また、幼児が小学1年生の授業を体験したり、5年生と交流したりする機会を設け、関わりを深めています。



実践例6 あいさつ運動

アカデミー内であいさつの強化週間を作り、あいさつ運動に取り組んでいます。保護者・地域の方々とのふれあいの場となるほか、あいさつの大切さを再確認できる機会となり、交流を深めています。



これらの実践により、幼小中一貫の教育の充実を図るとともに、幼・小・中の校種を越えた交流活動を促進し、次の段階への不安感を軽減し、期待を高められるようにしています。また、他者のための活動や自己肯定感を高める活動などを通して、豊かな心を育てています。

◎カリキュラム連携型 高松アカデミー

○高輪幼稚園	〒108-0074	港区高輪2-12-31	03-3447-3356
○白金台幼稚園	〒108-0071	港区白金台3-7-1	03-3443-5666
○高輪台小学校	〒108-0074	港区高輪2-8-24	03-5447-0616
○白金小学校	〒108-0071	港区白金台1-4-26	03-3441-5407
○高松中学校	〒108-0074	港区高輪1-16-25	03-3441-6239